

よろこび

『よろこび』三十一

日蓮宗 顕聖会

本山 妙圓寺

長春山 本誓寺

貫首 齊藤 日軌

『心こそがすべて』
心の世界、この世の世界、全ては自分の心から生まれてきます。怒りからは、怒り、憎しみから憎しみが心の世界で生まれ、この世で戦争や破壊が生まれます。感謝からは、よろこびが生まれ平和な世界が作られます。これを日蓮聖人は、一念三千と教えてくださいました。インドのお釈迦様は、ものごとは心にもとづき、心を主とし、心によってつくり出される。もしも汚れた心で話したり行なったりするならば、苦しみはその人につき従

う。車をひく（牛）の足跡に車輪がついて行くように。（法句經第一句）皆さん感謝から喜び、喜びから幸せの世界ですね。皆さん南無妙法蓮華經と感謝し、喜びを味わい、幸せの世界をみんなで作っていきましょう。



みおしえ

妙法蓮華經とは御本仏さまのみ心です。光、愛、調和、喜びで全てのよきものは、御仏の心から生まれ、大宇宙も御本仏の心から生まれ、その宇宙のことがとくが仏の心に備わり、その御心に包まれているのです。私たち心の心からまた色々なものが生まれます。日蓮聖人は、次のようにお示しです。
「九界（くかい）も無始の仏界（ぶつかい）に具（ぐ）し、仏界も無始の九界に備（そなわり）て、真（まこと）の十界互具・百界千如・一念三千なるべし。」（開目抄）
すなわち、地獄界から菩薩界に至る九の世界は永遠なる仏界に包まれ、仏の世界も永遠の九の衆生の世界の中におのずから備わっているという世界の構造が示され、真実の十界互具・百界千如・一念三千が明らかにされたのです。ここで大切なのは、南無妙法蓮華經と唱えて本仏のみ心に帰り、そのよき心で感謝と喜びの世界を作ることなのです。みなさん南無妙法蓮華經と唱えよき心でよき平和な世界を作っていきましょう。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱えてよき心でよき平和な世界を作っていきましょう。

